

千代田区居住支援事業におけるご意見について(まとめ)

先般、千代田区高齢者等住み替え相談支援業務の経過報告を委員の皆様へお送りする際、併せて意見書へのご回答をお願いしたところ、以下のとおりご意見を頂戴いたしました。お忙しいなか、ご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

1. 高齢者等の住み替え相談支援について、確認したい事項や課題のご提起がございましたらお知らせください。

● 利用者の物件に対する要望が高かったり、預貯金がないなど、大変な状況の中で丁寧な相談にのっていただいていると思います。そうした中で「支援計画書兼報告書」を記載するのは負荷が大きいものと思いますが、記載の量に差があることが少し気になりました。特に、「地域社会からの孤立」についてはほとんどのケースで記載がありませんが、これはそこまで把握することができなかつたからでしょうか。

● 7ケースすべての支援計画兼報告書の「契約後～入居中の課題」に「地域社会からの孤立」が入っていることが気になりました。このうち、定期訪問の対象と記載があるケースとないケースがあり、定期訪問の対象条件などがあるのか教えてほしい。

● 年1回程度は、居住支援連絡会とは別にホットスペースさんと包括支援センターで課題感の共有等を図り、シームレスな支援としていきたいと感じております。

以前、話し合いの場を設けていただきましたが、あのような簡単なMTG程度のもので構いません。

● 肌感覚ではありますが、番町・麴町エリアにおいて高齢・独居である方の賃貸契約のハードルが相当高いということを改めて実感しています。

上記エリアは老朽化したマンションの取り壊し計画の情報が数件寄せられており今後住み替えの相談が多く寄せられる課題があると予測しています。

● 福祉サービスの利用や書類の整理、日常的な金銭管理に不安がある方々への支援や、孤独・孤立防止の取り組みは社協の重点的な取り組みであるため、連携した支援ができると良いと思います。

● 住み替え相談があった場合、区内もしくは区外で探すのかにより相談内容が違ってきます。傾向としては千代田区内という希望が多く一つの課題です。

● 終の棲家・居住先の選択肢として有料老人ホーム or サービス付高齢者住宅 or ケアハウス等々、我々のマネジメント力も必要と感じています。

2. 住宅・福祉施策に関して、知りたいことやご要望がございましたらお知らせください。

- こうした相談内容から、千代田区における福祉制度やサービス、地域福祉の充実を検討していく必要があると思っています。相談事業を担当されている事業者さんには、ぜひ、相談を通して把握された福祉ニーズを集約していただきたいです。また、区役所内の部署同士の連携の必要性なども、気づいたことがあれば教えていただければと思っています。
- 千代田区内の都営住宅・区民住宅の応募倍率は50～100倍弱と少々現実的ではない状況です。
- 千代田区として、公的な住宅の整備等がどのような計画となっているのかわかる範囲で教えていただければと思います。
- 多死社会を迎え孤独死・孤立死は必ず増えます。オーナーさんの懸念事項の一つとして、孤立死とならないようなDX化（すぐに発見できる装置や環境づくり）に力点を置き、少しでも安心して契約できる環境作りができればと思います。

以上